

# ◇ 令和3年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「草津」		指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針	
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	18,919,842円		20,220,446円	行事の変更やコロナ対策で急に購入することになった物品など変更が多かったが、コロナ対策費などを活用し経理を行うことができた。(差額については、おやつ代等に対応)	施設の運営や事業の実施等保護者の意向も取り上げ、満足度の高いものにしていく。
施設HPアドレス	<a href="https://minnanoie.roukyou.gr.jp">https://minnanoie.roukyou.gr.jp</a>		2年目	18,460,093円		19,803,497円	正常に運営できている。(差額については、おやつ代等に対応)	子どもを真ん中に据えたまちづくりを目指し、保護者や地域との協力を進める。子どもや親をありのまま受け止め、安心して安全に過ごせる場所、体験を通して一人一人が成長できる場所をみんなで作る。
指定管理者名	労協センター事業団草津地域福祉事業所みんなの家		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成21年4月1日
施設の供用開始日	平成9年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
<b>令和3年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)</b> ひとりひとりが違う人格だという認識、人権を尊重する。(命を大切に)子どもの学ぶ権利を保障し、成長に価値を置く。保護者が子どもの姿を見て安心して仕事ができる保育をする。支援員の質の向上(学びの場、研修)に努める。		<b>事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)</b> 概ね適正な管理運営ができています。人員確保が難しい中、人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされています。	
<b>事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)</b> 今年度もコロナ対応に追われ余裕がなく、人員的にも怪我で保育を抜けたり、退職する職員もいたため人員確保が難しい状況であった。遠足や交流会、保護者交流会などを今年も行うことが出来なかったが、子ども達だけで出来る行事を行った。		<b>公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証</b> (公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。  (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目 1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	基準に沿った職員配置を行うべく他現場から応援を出して対応した。体制が取れ次第追加配をつける段取りをしていたが体制が取れず追加児童を受け入れる体制がとれなかった。入所状況については1割増の弾力運用により受け入れを行った。	上半期評価	コロナ禍の中、他の現場との連携を図り、仕様書に定める基準を遵守しながら運営された。また、定員を超える弾力運用での受け入れも行い、児童福祉の推進に協力いただいた。
	☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	基準に沿った職員配置を行うべく他現場から応援を出して対応した。体制が取れ次第追加配をつける段取りをしていたが体制が取れず追加児童を受け入れる体制がとれなかった。また、退職者も出たため人員については厳しい状況だった。入所状況については1割増の弾力運用により受け入れを行った。研修に関しては市が行うものに参加し、内部研修も行った。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。市の研修にも参加され、受講後研修参加者が研修報告書を作成し、クラブ内で情報共有に努められた。
☆☆☆	☆☆☆☆☆			

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目 2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	密防止を考慮した上で季節に合った行事を実施し保育内容の充実に努めた。個人情報を含む書類等は鍵付きロッカーで管理を徹底した。	上半期評価	時季に合ったイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。小学校と調整し、体育館を使用することで、天候に左右されずに活動できるよう、保育を工夫する姿勢が見られた。
	☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	密防止を考慮した上で季節に合った行事を実施し保育内容の充実に努めた。個人情報を含む書類等は鍵付きロッカーで管理を徹底した。	下半期評価	時季に合ったイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。
☆☆☆	☆☆☆			

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目 3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のおたよりや貼り紙、ショートメール、電話などで家庭への連絡を行った。また必要に応じておたよりの郵送も行った。	上半期評価	新型コロナウイルス感染症に関連する通知に関して、丁寧に保護者に周知されていた。おたよりやショートメールなどで保護者とのコミュニケーションを図られている。児童に何かある場合は、お迎え時、あるいは電話で保護者に伝えられている。
	☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月のおたよりや張り紙、ショートメール、電話などで家庭への連絡を行った。また必要に応じて個人面談を行った。また学年末には個別懇談を行った。	下半期評価	先に1ヶ月の予定聞き取るようにして、出欠の管理を工夫されていた。また、お迎え時に児童の様子を伝えるようにされおり、連絡帳でも情報共有されていた。個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
☆☆☆	☆☆☆☆☆			

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目 4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	日常点検、日々の清掃を行った。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされた。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	日常点検、日々の清掃を行った。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされた。
☆☆☆	☆☆☆			